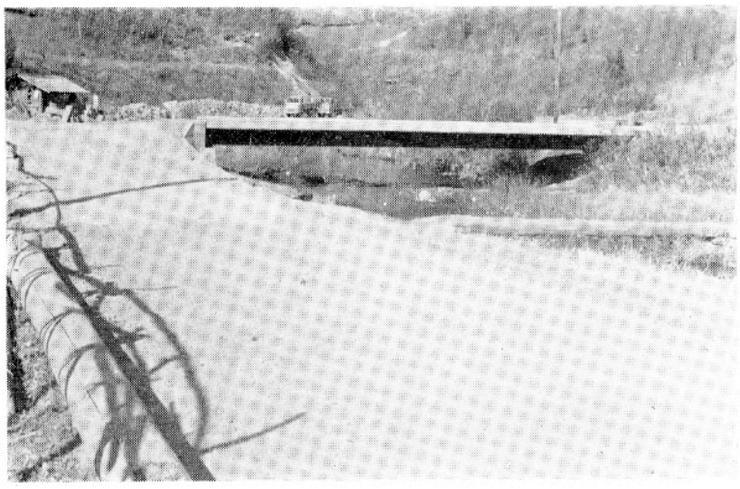
1967
2 月 号
No. 159
編集兼発行
鮫川村役場
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

2月の人口と世帯
人口 7.358（−9）
男 3.653（+5）
女 3.705(−15)
世帯数1.233(−1)



鮫川村公民館は53年ぶりに改築され、鉄筋コンクリート構造のデラックス公民館が誕生。1月11日にぎやかに落成式が行なわれました。



生産基盤である農道にも永久橋を架けようと、村では先づ東前田橋を、H鋼桁使用の永久橋に架けかえました。延長15ｍ余巾3m、工費103万余円。

春の火災予防運動
2月28日～3月13日

全国一斉に春の火災予防運動が行なわれます。

気象の影響により火災が大火になりやすい春先において特に火災の防止、人命の安全の確保、各事業所等における防火管理の強化等を図ることによつて国民一人一人の防火意識を向上させ、火災予防体制を強化することを目的としております。

この重点事項は

① プロパンガス、石油、電気器具の正しい取り扱いの普及。
② 火災が発生した場合における消火や避難の方法。

去る一月十八日実施した火防診断の結果は次のとおりです。〔全戸〕

③改善を必要とするもの
かまど　一五件
風呂場　一七件
煙突　五二件
石油ストーブ　一件
プロパンガス　九件
残火、取灰の処理状況　三件
計　九七件

診断の結果、とりまとめた数字ですが、その後相当改善されたと思います。

まだ改善されない方はすぐに改善し、火災を出さないよう十分注意して下さい。

村県民税の申告は
3月15日まで

今年も村県民税の申告期限がせまりましたので、申告者の便宜をはかり、次の日程により、各区に税務係が出張して申告についての説明並びに受付を行いますから是非おいで下さい。

三月十五日までに申告しないと、扶養配偶者等その他いろいろな控除が認められないので税負担が高くなり、損をすることになりますから、なるべく各区の申告会場に於て申告を済ませて下さい。

なお、申告の際は次のものをおもち下さい。

一、印鑑及び筆記用具
二、各種所得額の計算に参考となる資料
三、扶養親族の明細
四、医療費の領収書
五、保険税及び国民年金の納付額調書
六、生命保険料払込領収書
七、その他申告に必要と思われる資料

昭和42年度村県民税申告指導並びに受付日程表

月	日	曜日	行政区名	場所	時間
3月	1日	水	青生野	青生野集会所	午前10時から午後3時まで
	2日	木	渡瀬田	渡瀬中学校	午前9時から午後4時まで
	3日	金	富田	富田小講堂	〃
	7日	火	西野山	西山公民館	〃
	8日	水	西山石野	西山野公民館	〃
	9日	木	東中野	東石公民館	〃
	10日	金		東中野公民館	〃
	13日	月	上記会場でない方々	役場税務課内	午前8時30分から午後5時まで
	14日	火	申告会場でない方		
	15日	水	かつ		

木材引取税の申告納入について

木材引取税は、立木や素材を売った人が、その売った価額の百分の二の額を買主から受取って、すぐに納めなければならないことに定められております。

村から申告納付するよう通知を受けてから申告納付すると、不申告加算金を税金に加算して納付しなければならなくなります。

このように、売った時すぐに納めなかったり、申告をしても不正な申告をすると、余計な金を納めなければなりませんので御注意下さい。

立木や素材を売った人で、木材引取税を未だ納めてない人は今すぐに申告納付されるようお願いします。

昭和四十二年交通安全スローガン

（運転者）
アッ危い
そのスピードが
死を招く

（歩行者）
一秒待つ
心のゆとりが
身を守る

（子供）
とび出すな
車は急に
止まれない

人事

就任
鮫川村選挙管理委員会
委員長　鈴木　源義
委員　石井　半次
〃　松本　一郎
〃　遠藤慎一郎
補充員　斉藤　武
〃　鈴木　輝男
〃　岡部　豊
〃　山形　貞造
（昭和四十二年二月二日付）

退職　鏑木　国子（母子健康センター）
（昭和四十二年二月十五日付）

公民館の篤志寄附

ゆいしよある公会堂の跡に建てられた新しい公民館の建築にさいしては、村内外より多大な御協賛を頂き立派な建物にふさわしい、設備及び備品を整えることができましたことを厚く御礼申上げます。

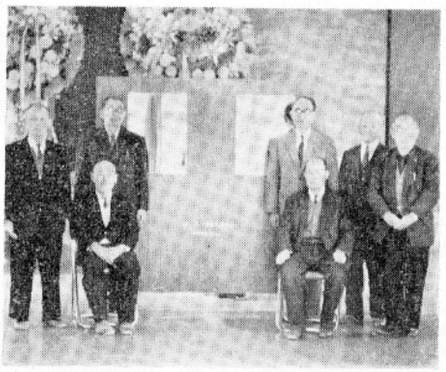
村内の寄附金については先に「落成のしおり」でお知らせしたとおりですが、次に篤志寄附を頂いた方々をお知らせします。

篤志寄附金

五万円…東京都　岡部　敬美
三万円…〃　田子　竹治
一万円…棚倉町　湯座　義弥
二千円…〃　水野　俊夫
二千円…いわき市　本郷武夫

物品篤志寄附者

一万円…古殿町　佐川恵実子
三千円…東京都　新堂　義弥
・日展入選日本画等四点…東京都　鈴木春詩、・装飾幕一枚…東京都　佐藤大助、・花瓶二ヶ…棚倉町　斉須ハツノ
・白布…棚倉町　菊地一衛
・大花瓶一ヶ…東京都　八田貞義、・大花瓶一ヶ…郡山市丹野商事、・鏡一枚　棚倉町菱川元、・花火五発…平田村中川西重雄、・衝立一脚…鮫川村　老人クラブ、・鏡台二ヶ…鮫川村婦人会、・大時計一ヶ…鮫川村青年会、・鏡二枚…村内東野　藤田卓三、
・小コップ二百ヶ…村内中野橋本政一郎、・コップ百二十ヶ…村内中野　穂積義富、
・柱時計一ヶ…村内富田　松本亭、・大灰皿三ヶ…村内東野　宗田悦次



立衝の贈り寄クラブ老人真は写真

☆　★

★　☆

おらほの広み (43)

十年続いた納税完納

村長　石田卯子八

鮫川村の完全納税は、今年で十年目を迎えることができました。十年といえばひと昔、この実績は全国的にも、そうたくさんあるものではないと思います。

県下市町村の納税収納率は一般によくなっているものの、国民健康保険税のような、税額の累増する目的税もありますから、一〇〇%完納という事例は極めて少いようです。

この比類稀な実績をあげていただいた村民の皆様に心から感謝の意を表します。

村内各区の完納継続年数をみると次のようになっています。

赤坂西野区	十一年
西山区	十五年
赤坂中野区	十一年
東野石井草区	十　年
富田区	十二年
渡瀬区	十二年
青生野区	十一年

最も長い年数を重ねた西山区が、村で最初の全区完納をなしとげたのは、当時の熱心な区長さんが、真剣に奔走努力したことが、きっかけになったといわれています。

「納税は組長さん次第」という独特なことばも村内にありますが、納税完納の過程で果す区長さん、代理さん、組長さん、使丁さんたちの役割は実に重大であります。

改めて関係の皆様に厚くお礼を申したいと思います。

納税には、徴収技術の前の段階に、重要な課税の作業があり、精度の高い適法性と、公平、正確度が要求されます。

また事務的妥当性のみが、納税成績をよくするものとはいえず、村政の普偏的な福祉と恩恵が、均てんしていることが重要な背影となりましょう。

また他の一面には、住民の担税力の問題があり、村政が住民の所得の確保向上に寄与した効率も、大きく関連するものと考えるのであります。

鮫川村は、かつて四十年前須藤村長さんの時代に、県下の納税模範村といわれていた時期があり、その誇りと伝統は、その後経済の浮き沈みなどで消長はあったにしても、潜在性格として、今日の村民にうけつがれており、これは尊い村の無形財産として尊重すべきであります。

稲作改善対策特別事業決まる

四十一年産米の政府買入価格決定に際し、国は米価とは別に五十億円の予算をとり、稲作改善のために支出することになつていましたが、このほど補助金交付要綱が示されました。この補助金は稲作の生産性の向上と生産の増大を図るため、昭和四十一年度に限り交付されるもので、鮫川村に対しては百七万一千百五拾二円の内示がありました。補助金に該当する事業種目は次のとおりですが、いずれも個人利用と見なされる事業や、肥料農薬等の消耗品的性格の資材購入は認められず、補助金の個人配分も禁止されています。

◎事業種目

(1)稲作機械化促進事業
(2)用排水管理合理化対策事業
農道補修事業および土じょう改良対策事業
(3)小型の機械器具等の導入事業
(4)稲作改善のための研究、講習事業
(5)生活改善促進事業
(6)その他農林大臣の承認を得た事業

以上の事業種目のうちから市町村長が農業協同組合長等と協議のうえ、町村の実情に則して実施する事業種目が選定されます。

村においては、過日農業団体の代表者及び農事組合連合会長、集荷業者による事業計画の協議会を開催しました。

この補助金は四十一年産米事前売渡申込数量に応じて村に配分され、稲作改善のために使われるものですから、稲作農家全部が受益者となるような事業種目が適当と云うことから、種々検討され、共同防除用の高性能防除機を導入することに決定しました。

一台約七拾万円で二台購入する計画ですが、補助金だけではたりないため約三十三万円を村、農協、共済組合で負担するよう協議中です。

今年の稲作は、共同防除、委託防除等を早目に計画し、薬剤費の安い、性能のよい防除機を充分活用し、稲作改善の実績を上げるよう努力しましょう。

おめでた

十二月　出生
巡ヶ作　古舘　勝人　父誠二
岩野草　松崎　義安〃義一
大石草　芳賀美恵子〃光美
名下　西野　勇二〃長治
越虫　小野瀬誠一〃誠
官代　宗田　和子〃豊
戸草　芳賀　晴美〃貢
鍬木田　小川　文伸〃久之
官沢　五十嵐和美〃伝美
大戸中　小松　滝江〃幸一
火打石　佐藤　文枝〃弘一
道少田　渡辺　敬〃邦夫
青生野　芳賀　和広〃権兵ヱ
越虫　角田美智代〃武雄

一月
関口耕地下重　佳美　父正佳
新宿　国島　恭子〃武士
薄ヶ久保高木　剛〃市郎
滝平　円井　敦志〃満正
関口耕地下重　浩〃金治
馬場　鈴木　幸男〃輝司
二月
青生野　生田目富美子〃勝利
岩野草　根本　正則〃伝
青生野　吉成　昌人〃義郎
田野上　下重　正春〃正
蕨ノ草　矢吹　弘恵〃幸一
巡ヶ作　菊地　勝彦〃勝美
江竜田　芳賀美佐子〃恒夫
戸草　諸橋　覚〃覚知

◇

◇

おくやみ

十二月死亡　世帯主
中沢　石井　竹治73　栄
中沢　水野　竹志58　輝男
伏木田　小松　正雄70　本人
一月
鍬木田　坂本　亀吉74　亀寿
反田　坂本　正雄74　圭子
青生野　大森善之助63　光枝
新宿　石井　フミ76　政雄
官沢　五十嵐和美0　伝美
大戸中　小松　寅松88　喜重
遠ヶ竜　森　ツメ90　宗一
二月
新宿　鈴木　キヨ79　市夫
大根屋敷　佐久間ユキ70　兼江
西野沢　芳賀　ハヤ77　正一

議会だより

議決のあらまし

昭和四十一年十二月から、昭和四十二年二月までに招集された議会において議決された主な内容についてお知らせします。

第十三回議会定例会（十二月二十一日）

四十一年度一般会計補正予算案等六件の議案が上程されて原案どおり可決されました。主な内容は次のとおり。

◎議案第五十九号　鮫川村商工業振興資金融資事業について（原案可決）

これは、鮫川村の商工業の振興を図るため、村費百万円を銀行に預託して、その原資金の十倍即ち一千万円まで（一企業者三十万円）を銀行が簡易な方法で融資する途が開かれたわけです。

◎議案第六十号　収入役の選任に同意を求めることについて。（原案同意）

任期満了による収入役の選任であるが、満場一致で、前田季男氏の再任に同意。

第一回議会臨時会（一月九日）

この議会には、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案等五件と選挙第一号について審議されました。主な内容は次のとおり。

◎議案第四号　鮫川村公民館使用料条例（原案可決）

村民の協力で、近代的な公民館が新築されましたが、この公民館を、公の目的以外に使用する場合は使用料を徴収して一般の利用に供することになります。

◎選挙第一号　鮫川村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

鮫川村の選挙管理委員会委員及び補充員が二月一日をもって任期満了につき、後任者の選挙（指名推せん）を行った結果次の者が当選者と決定しました。

・委員（四名）

石井　半次。　鈴木　源義

松本　一郎。　遠藤慎一郎

・補充員（四名）

①斉藤　武　②鈴木輝男

③岡部　豊　④山形貞造

（補充員氏名の上の数字は補充順序を示す。）

第二回議会臨時会（一月二十五日）

議案は急施を用する事業費等の補正予算一件で内容は次のとおり。

◎議案第六号　昭和四十一年度鮫川村一般会計補正予算（第九号）（原案可決）

村道赤坂石川線赤坂勿来線、富田関口線、棚倉勿来線の災害復旧事業費を主とした予算の補正でありました。

第三回議会臨時会（二月十六日）

払下林野の所有権移転並びに一般会計の補正予算案が上程されました主な内容は次のとおり。

◎議案第七号　国有林野整備臨時措置法による払下林野の所有権移転について（原案可決）

これは、昨年十月三十日の第十二回議会で、蛭田京之助外六名に対し、所有権移転の議決を行ったと同じ事例で、今回は一二四、九九〇平方米（約十二町六反十歩）の山林を当時の売買事実の資料にもとずき、富田字中沢、矢吹兼光外九名に払下林野の所有権の移転を行うことに決定。

◎議案第八号　昭和四十一年度鮫川村一般会計補正予算（第十号）（原案可決）

補正内容は、村道赤坂石川線（官沢地内二号）と見渡地内の村道災害復旧費等の予算の補正であり、これで一般会計の予算現額は一億四千四百七拾六万二千円となりました。



村議会風景

災害土木工事着工す

このほど四十一年度災害土木工事の入札が行われ、次のとおり落札者が決まりそれぞれ着工し、三月末日には竣工する見込みです。

・村道関係

路線名	ヶ所	請負者	落合	落札金額
棚倉石川線（工事請負額）二五二千円	猿子	光建設	藤田組	三〇〇千円
赤坂石川線	官沢一号	藤田組	大録田	一一五千円
藤田建設	一、二七二千円	赤坂石川線	前田建設	一一五千円
	官沢二号		塩倉線	塩倉
	一、二六七千円		藤田建設	六〇四千円
	赤坂勿来線	深谷土木	滝の下一号	五八五千円
	赤坂勿来線	深谷土木	滝の下二号	四〇三千円
	富田関口線	田尻	二四五千円	
	棚倉勿来線	東白建設	関口一号	二〇二千円
	棚倉勿来線	東白建設	関口二号	五九五千円

・林道関係

路線名	ヶ所	請負者	落札金額
赤坂石川線	官沢一号	藤田組	一、二六七千円
赤坂石川線	官沢二号	藤田組	一、二七二千円

公民館使用料公益団体には免除

新装の公民館使用料は集会室（半日千円、一日千五百円夜間五百円増）、その他の室（半日五百円、一日八百円、夜間二百円増）、暖房使用料（一時間につき大型百円、中型五十円、小型三十円）と条例により定められましたが、村内に事務所をもつ公益団体は減免します。ただし暖房料は納付して頂きます。

使用申込は五日前までに公民館事務局に申しこんで下さい。その他不明の点がありましたら事務局に問い合せて下さい。

自衛官募集中

昭和四十二年度第一次の自衛官募集中です。希望者は役場総務課の方におたづね下さい。

確定申告は3月15日まで

申告と納税は早目に済ませ、さつぱりして家業に励みましょう。

白河税務所

成るか!! 県道勿来～棚倉線の国道編入?

この路線の改良促進については、関係町村が期成同盟会を結成し、その開発を図って来たところでありますが、過般議員協議会を開き対策を協議した結果、これを国道に格上げして大幅な改修の促進を図るよう運動を展開することに決定。先きに東白川地方町村会でも採り上げ陳情活動を行っているので、議長会でも意見の統一を図り、一市二郡（白河市、西白河、東白川郡）議長協議会の四十二年度の重点事業計画として、実行運動を展開することになりました。新潟県弥彦村から白河間の県道の国道への昇格運動を行っているのでこの路線が結合され改修されると福島県南端の太平洋と日本海を結ぶ横断道路として、関係地域の経済、文化の発達に重大な貢献をなすものと思われます。

新鮫川風土記

鮫川を下る ②

中井恒雄

⊙戸草地内(2)

川はよせ集めの泉から、小さなせゝらぎと変り、そして急流な小川と変つて行くころは、水源地から五〇〇メートルも下つていない。それだけに、水の量の豊ふさをあらわしているかのようだつた。

このあたりになると、道路から下に川のせせらぎがきこえて、近代化を物語るブルで道を拡充したあとなども見える。それからしばらく下ると橋があり、そして小滝になり岩が川につき出ているところがあり、川らしい姿をあらわすのもこのあたりからである。

このあたりは、杉山が多く山も深くみえるので、マムシヘビなどが生息しているだろうと思われた。そして鮫川の秋を色どるモミジの木がこのあたりには多くあり、風車の木の大木も、川辺に立つていた。この風車の木で思い出されるのは、幼い頃に、この木の葉を取つて細工し、風車を作つて遊んだことである。エジプトかどつかの大風車を思い出すような、型などは色々に作り、農村の子供たちにあたえられた一つの民芸品でもある。

ここから少し下るとまた民家が川の左手に見え、少し下がると橋がある。ここあたりの川幅は、二メートルもあろうか、下流の遠くの山脈は美しく見え、特徴のある丸山がみえる。

杉森がみえる。そして岩がある。小滝もある。鮫川にはじない名前だけの川の風景が生まれて来るのであろう。

少し下がると国有林の掲示板が川の右上に見え、そこの下は村道がはしつている。この掲示板は横が二メートル、縦が三メートルぐらいで、丸太を組合わせた立派なものである。

掲示板をみていると、下の方から二人のりバイクが登つて来た。

「こんなに道が悪いのによくもとばすものだ」と思う。しかも荷台に乗つている五十がらみの女の人が、しつかりと車体につかまつている姿は、新風土記に掲載するにあまりあつた。

ここから下ると立派な民家が見えて来た。戸草部落であるが、この屋根なみは、みな着色してあり、特にグリン、青などの屋根は、美しいものだつた。戸草部落に入ると、川の左側のむこうに整地された田んぼがあり、すでに秋をまつ頭のたれた黄金の稲穂が続いていた。

（次回は戸草地内(3)です。ご期待下さい）



年金だより

住民課

納め忘れた保険料

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。納め忘れがあると、せっかくの国民年金をもらいそこねることになります。

保険料を納めることができないときは。

免除申請の手続を役場住民課で行なうようになつております。そのままにしておくと保険料が未納となり、いざ年金というときに間にあわなくなります。

三月は――

年度のしめくくりの月です。豊かなくらしを築くために、あなたの国民年金をさらに立派に育てましょう。

年金支給額が大巾に改正されました。

▼年額六万円の年金をまだ請求していない人、改正により障害、母子年金（かけ金なしの年金を含む）等の支給要件が、ゆるやかになり改正前は該当しなかつた人が今年からは受けられる方もたくさんいます。さあ、いんりよせず気軽におたずねください。

保険料一〇〇%完納区

昭和四十一年度の保険料は皆様の御理解により二月二十三日で西野区、西山区、中野区、渡瀬区、青生野区が前年に続き一〇〇%完納となり東野区、富田区が九九%と前年より好成績を納めました。

ご利用下さい 公民館結婚式

要望の多かつた結婚式でしたが新装なつた公民館で設備も整えましたので、申込を受けています。使用料は一回三千円（暖房使用の場合は実費徴収）ですが、公民館より結婚記念品（一千五百円）相当を贈ります。

申込は挙式の十日前までにお願いします。一日に三組以上の申込はおことわりしますので御諒承下さい。式は結婚式（二階日本間）と披露式（一階集会室）に分れ、式の進行には主事があたり司会は館長が行ないますが、会場準備や後かたずけ受付などはいつさい申込者で手配して頂きます。

現在すでに五組の申込があり第一号は大字富田字中沢の中川西元義君と根本孝子さんで二月十九日に挙行されました。

第二の門出

人生の門出を祝う成人の日に、私達は、西島旅館で初老会を開催しました。戦の最中に若き少女だつた私達は銃後の守り、そして終戦と苦労の連続でしたが、今日この会場に集つた友だち六十余人は、色とりどりの衣裳を身につけて、過ぎた苦労はどこへやらと言わんばかりの笑顔が会場いつぱいにあふれていました。

神主さんに御祈禱をしていただき、記念の写真もとり、お膳も据えられて、若いあのころの青年学校長であつた石田村長さんより、今日ある日の御祝のことばを頂いたときは、過ぎしあの日の銃剣術をならつた姿を思い出さずにはいられませんでした。

盃のとりかわしのなかで、日頃の苦労も忘れてかたる話に花が咲き、楽しく過ごした一日は私の人生のなかで決して忘れる事の出来ない深い深い思い出となる事でしよう。

なつかしい先生や友人と別れを惜しみつつ、再会を約して四十二の集いの会場を後にしましたが、ほんとうの充実した人生はこれからだという自信のようなものを、みんな心に抱いて帰つたと思います。

（関口　藤田マサ）

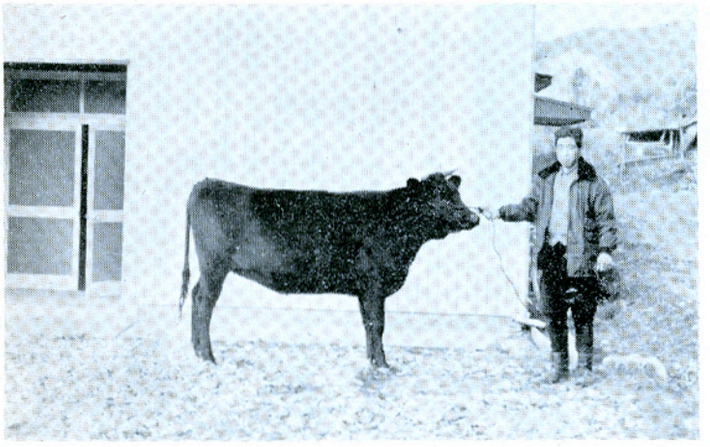
御礼

このたび県遺族連合会並に婦人部提案による県遺族会館設立にさいしまして、木村遺族会に十一万九千円の寄附割当がありましたところ、全額完遂をみることができましたことは、ひとえに各位の御芳志によるもので誠に感謝にたえません。

完遂報告をかね紙上より厚く御礼申し上げます。

鮫川村遺族会長

湯座　初男



郡内一の肉用牛　このほど開かれた肉用牛登録検査で大字西山字戸倉の関根仁市さんの和牛が、郡内で初めて79点代をオーバーし79.1点の登録点数をあげました。この肉用牛は郡共進会にてチヤンピオンとなり村共進会に参考牛として出陳されました。

猟銃・空気銃所持許可講習会のお知らせ

☒　講習会を受けなければならない方

・昭和二十一年から昭和二十九年までの間に、許可を受けて猟銃または空気銃を所持している方は、法律改正により昭和四十二年四月三十日までに許可の更新を受けなければならなくなつたが、その更新の条件として講習会を受けなければならない。

・昭和四十二年一月一日以降狩猟または空気銃の所持認可を受けようとする方。

（昭和四十一年六月七日以降、狩猟者講習会を受けている方は除く。）

☒　講習会の日時、場所

三月十日　平警察署道場

三月十五日　郡山市公会堂（福島、白河、原町、会津若松は実施済み）

★　詳しくは、もよりの警察署にお問い合せ下さい。



明るい家庭によい子が育つ・毎月第3日曜日 家庭の日

私のうちの家庭の日

●家族全員で話しあいましよう（話しあい）

両親は、子どもたちの考えをきき、子どもは、両親からその考えをききましよう。たとえば、学校や生活態度、家庭でのくらしなど、身ぢかな話題がたくさんあります。

●家族全員で楽しみあいましよう（レクリエーション）

家族みんなで夕食を共にし、そのあと室内ゲームやのどじまん、それからおもしろい本を朗読することなども楽しいことでしよう。

●家族全員で運動しましよう（スポーツ）

子どもの年令、その他の事情によつてもちがうことでしようが、魚つり、水泳ぎ、きのこ狩り、スキー、その他のちよつとしたゲームやピクニックなどいろいろあろうかと思います。

●家族全員で力を出しあいましよう（作業）

大掃除、花だんつくりなどみんなが力を出しあつて、ひとつの仕事をしてみようではありませんか、こうした体験の中で子どもは両親の激励と承認によつて育つていきます。

●そのほか各家庭にあわせてくふうしましよう









録音機を寄附

大字西山字折戸出身で東京で洋裁店を営なんでいる阿久津鉄治さんは、このほど母校の教育に役だてて欲しいと録音機（二六、九〇〇円）を寄附されました。

なお西山老人クラブ婦人部（部長市川アイ）では今年も三十六名の会員が、雑巾を五枚づつもちよつて学校に寄附しました。この阿久津さんと老人クラブの好意に校長（小山田仲（はじめ）全職員、児童も感謝しています。

あとがき

各種行事や、新年度予算編成事務等で発行のおくれたことをおわびします。